



高木石材新聞



暑い日が続いておりますが、お変わりございませんか。

扶桑町の龍泉寺にて、たいへんご好評をいただいている永代

供養小規模墓地の増設工事が完了しました。最後の方のご

遺骨を納めてから13年忌(12年間)までは個別

供養をさせていただき、その後は合祀墓に移し、

永代にわたり責任をもってご供養いたします。お人様から上限4名様

まで埋葬することができます。ご興味のある方はお問合せください。

(詳細はQRコードのリンク先参照)

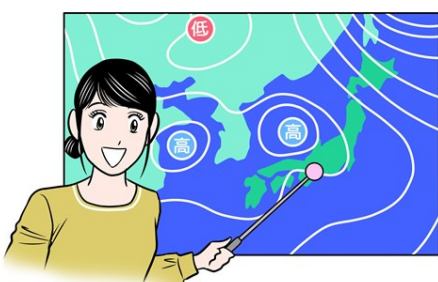
さて、お盆からお彼岸にかけてお参りの機会が多い時期ですが、何かございましたら、お気軽にお声かけください。



知っていますか? 8月の記念日

●8月28日は「気象予報士の日」です

1994年のこの日に、第1回の気象予報士国家試験が行われました。気象庁以外の方が気象予報を行う際、その予報の技術水準や信頼性を担保するための技能試験として創設され、全国ワカ所で実施され



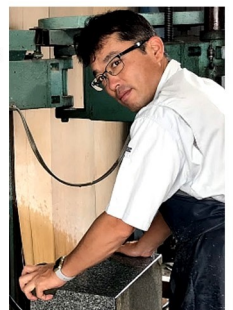
ました。平均の合格率は例年約5%程度と、とても難易度が高いことでも知られています。

■発行者:高木石材店

鈴木 一成 (すずき かずなり)

昭和47年愛知県生まれ。妻、娘(大4)、息子(大2)、娘(大1)の5人家族。子供達とはとても仲良しです!

犬山ロータリークラブ、犬山JCOB所属、2013年犬山西小学校PTA会長
一般社団法人日本石材産業協会 墓石部会長



※若い時から、登山と写真にはまっていました。自然が大好きです! こそばらく山から遠ざかっていますが、機会を見つけて、北アルプス穂高岳に登ってみたいと思います!

高木石材店

0120-967-614

愛知県犬山市大字上野字大門732-1

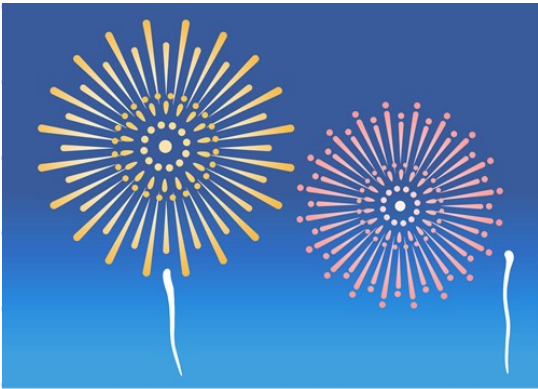




～お墓・仏事の三二知識～



★ 日本の夏の夜を彩る「花火」



日本の夏の風物詩「花火」。花火の起源は古代中国の狼煙(のろし)にあるといわれ、日本には後の火薬の発明を経て武器として伝わりました。現代まで続く花火大会の始まりは、江戸時代の享保年間に、飢饉や疫病の死者の供養・悪疫退散のために水神祭が催

され、花火が打ち上げられたことにあるとも言われています。その後、華やかなことが好きな江戸っ子たちにも受け入れられて広まっていきました。現在も全国各地で花火大会が行われていますが、そのはじまりとなった花火のように、鎮魂や慰霊の意味が込められた大会もあります。今年は花火の美しさを楽しむだけでなく、故人への思いや平和を願いながら、夜空を見上げてみてはいかがでしょうか？

仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。



鳥取県三朝町にある三佛寺は、標高900mの三徳山に境内があります。その奥院は垂直に切り立った絶壁のくぼみに建てられていますが、その名称はなんでしょう？

- ① 投入堂(なげいれどう)
- ② 腰掛堂(こしかけどう)
- ③ 岩屋堂(いわやどう)



行者が法力でお堂を手のひらに乗るほど小さくして、岩窟に納めたと言われてています。



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの思いで、発行しています。